

## ポイント 委員会 って何??

⇒議案などを本会議以外の場で、より詳しく審査・調査するための組織。  
富士宮市議会には、3つの常任委員会（総務文教、環境厚生、産業都市）  
が組織されており、全て議員のみで構成されています。

### 環境厚生委員会

所管事務調査 ●富士宮市における就労継続支援事業所の現状について

#### 【中村憲一 委員長のコメント】

就労継続支援事業には、現時点で一般就労が困難な障がい者の方々に、就労の機会とそのため  
の訓練を提供するのに、雇用契約を結び利用する就労継続支援 A 型と、雇用契約を結ばないで利用  
する就労継続支援 B 型の 2 種類があります。



▲就労継続支援事業所での説明の様子

当市では現在、A型の3事業所で32人が、B  
型の15事業所で272人が利用しています。

環境厚生委員会は、市内3事業所で調査を行  
い、現行制度の間隙にいる方々を捕捉しきれてい  
ない状況や、相談支援機関の少なさから利用登  
録に時間がかかるという問題を抽出しました。問  
題を課題へ昇華させ、当委員会で解決への端緒  
を開くべく引き続き調査を継続します。

### 先進地域視察

- 小田原市…地域循環共生圏の構築に向けた取り組みについて
- 明石市…子育て支援事業及び離婚前後のこども養育支援について

#### 【中村憲一 委員長のコメント】

いずれの自治体も当該事業においてはトップランナーであり、小田原市は、市民有志や6つの大  
学との共同研究により、地域の特色や文化を生かした森里川海の保全が経済的に自立する仕組みを  
通じて、エネルギー事業を軸に市内外から人、資金、エネルギーを循環させる地域循環共生圏の構  
築が目指されていました。

明石市は、こども総合支援推進事業として“一般財団法人あかしこども財団”を設立し、人材の育成、  
地域の活動支援、ネットワークづくりを実施。また、面会交流支援や養育費確保支援等、弁護士出  
身の市長ならではの施策が、自治体内弁護士により子ども目線で講じられていました。  
これらの取り組みを当市の現状と比較検討し、活用していきます。



▲明石市役所にて



▲あかしこども広場